



平成25年4月23日(火)
第2628回 例会
(本年度第37回)

例会場 東京第一ホテル鶴岡
(鶴岡市錦町 2-10)

例会日 毎週火曜日
(12:30~13:30)

ホームページ◎<http://www.tsuruokarc.org/> メール◎tsuruoka08@rid2800.jp

本日(5/7)のメインプログラム

ゲストスピーチ
山形大学 学長 結城 章夫 氏

次週(5/14)のメインプログラム

ゲストスピーチ
(公財)ロータリー米山記念奨学会学友 金 紅蘭 氏

会長挨拶

阿部純次君

先週の4/18(木)に、鶴岡の4クラブ合同事務局会議が開催され、14名出席の下、鶴岡クラブからは西川幹事・嶺岸エレクト・小林会計と私の4名が出席し、鶴岡西RCクラブ・青山会長が座長となり、鶴岡商工会議所移転解体による4クラブ合同事務局の移転に関して協議してまいりましたので、概要を報告いたします。

現在の商工会議所解体工事が、平成25年10月頃開始となり、新会館完成は平成26年3月の予定ということです。

- 1.新会館完成後入居することを前提として、約1年半の仮事務所を選定したい。
- 2.仮事務所条件として、①広さは現事務所と同程度、②駐車スペース2+3台位、③冷暖房付がベスト(資産としない方が良い)、④できるだけ利便性の良い場所、⑤トイレは入居者専用に付帯したところ希望
- 3.その他、①礼金・敷金の件、②ネット環境の件…等が協議され、できるだけ条件を満たす物件を次回5/15(水)に開催する会議までに各クラブで持ち寄ることになりました。

4月は「ロータリーの雑誌月間」です。RIの公式機関誌『ザ・ロータリアン』および世界31の地域雑誌の購読と、活用促進に役立つプログラムを実施する月間です。ロータリーの雑誌『ロータリーの友』などに対する会員の認識を深め、それによってロータリーの情報の普及を図ることが目的とされております。

クラブはこの月間に雑誌に関するプログラムを実施しなければなりません。又、「ロータリーの3大義務」の一つとして、3大義務とは、皆さんご存知の通り、1.例会の出席、2.会費の納入、3.雑誌の購読と謳っており、日本ではRIが指定した「ロータリーの友」を有料購買するのみならず、「購読」と記されている通り買って読

み続けるということが会員身分保持の条件だとされています。

チェスリー・ペリー国際ロータリー初代事務総長によって創刊された『ザ・ナショナル・ロータリアン』が1912年に『ザ・ロータリアン』に改称されました。発刊された1911年1月25日を記念して、当初1月25日を含む1週間を雑誌週間としました。そしてその後、1983年に特別月間として、4月を雑誌月間に指定して現在に至っております。

尚、日本の『ロータリーの友』は、1953年1月号が創刊号となっております。「2010年手続要覧」の「ロータリークラブ定款」の「第14条 ロータリーの雑誌」では、各会員は、会員身分を保持する限りRIの機関雑誌、またはRI理事会から本クラブに対して承認ならびに指定されている地域的なロータリー雑誌、先ほども申しましたが、日本では『ロータリーの友』を有料で購読しなければならないと定めています。

現在は、Eメールとインターネットが通信手段として人気を高めていますが、殆んどのロータリアンにとって主たる情報源はやはりまだ印刷物が多いと思います。ロータリーの雑誌月間は、ガバナー月信でも推奨しているように、『ロータリーの友』を読む習慣をつけると共に雑誌を見直すよい機会と捉えてみてはどうでしょうか。

幹事報告

西川 富美子 君

鹿児島西RC

◎訃報のお知らせ

パストガバナー海江田卓(83才)

通夜:4月20日(土)18時~

告別式:4月21日(日)12時~

場所:玉泉院 中央会館

喪主:海江田悦子

GE事務所

会員数	39名
出席	24名
出席率	64.86%
前々回確定出席率	89.19%

■ RI会長 田中作次

- 会長／阿部純次
- 副会長／丸山隆志
- 幹事／西川富美子
- 会長エレクト／嶺岸禮三
- 会報委員会／橋本 至・嶺岸禮三・小林健郎・武田啓之

◎ロータリークラブ・セントラルでの目標設定のお願い
財団目標:5月1日(水)締切
会員増強目標:6月1日(土)締切

中国語の新語から見る中国の社会現象

鶴岡市議会議員(鶴岡南ロータリークラブ) 佐藤 聰 氏



皆さん、こんにちは。鶴岡南クラブに入会して3年目、初めての他クラブ訪問です。私は平成10年から13年まで中国の北京支店で総務の仕事をしていました。中国当局との接触とか、人事・労務管理、施設管理などの仕事をし、その後本

社に戻って4年間中国担当ということで、地方の路線の開発等に従事していました。今から8年前に日本航空を退社し帰つてまいりました。帰つてからは直接中国と関わることはなくなりましたが、榎本市長が会長をされている鶴岡田川地区日中友好協会で中国語を忘れないように勉強しています。中国語を見ながら中国の社会現象をお話した方がわかりやすいと思い、中国でどんな言葉がはやっているのか見て頂きながら解説ていきたいと思います。

1.一人っ子政策について

独生子女…一人っ子。緩和され一人っ子同士の夫婦は二人まで、農村部では上の子が女の子なら二番目を生んでもいいことになっています。5年後、10年後にはこの政策は見直されるといわれています。

小皇帝…甘やかされて育ってきた子供。我儘三昧で育った子供のこと。今20代になっている。

80後…1980年代以降に生まれた子供。今までの世代と全く違うということでこう呼ばれるようになった。「90後」世代はハングリー精神に乏しく勉強や仕事にどんな欲さがないといわれています。

421問題…4人の祖父母、2人の両親と一人っ子。6人の愛を受けて育ち、一人で6人を支えなければならない。高齢化の中で問題になっている。

月光族…月の給料を全て使い果たし贅沢な暮らしをする人々。都市部に多い。

養児防老…子供を育て老後に面倒を見てもらう中国传统の家族制度。今は死語になりつつある。

2.雇用問題について

蟻族…光も射さない地下の2畳くらいのスペースに住んでいる若者。月給1万5千円から3万円くらいで暮らす。中国全土で数百万人いるといわれている。半分は大学卒業者。中国では毎年700万人の大卒者が社会に出てくる。若者の就職難。

考碗族—金碗、銀碗、銅碗、鉄碗…金属でできたお椀は割れないという意味で安定志向の若者を指す。金は国など中央機関、銀は省、銅は市、鉄はその下の機関を示す。

海亀族…アメリカなどへ留学して成功し、帰国してビジネスを興す人。今の中中国を牽引している。
尼特族…ニートのこと。当て字。**宅男／宅女**…おたくのこと。

3.結婚観について

裸婚族…今までの中国では、結婚の際に、家、車、家電を用意するということが多かったが、それらを一切省いて結婚するということ。増えている。

閃婚／閃離…スピード結婚・離婚のこと。

剩女／剩男…結婚できずに余っている女(男)の人。女性は高学歴で結婚しなくてもいいと思っているのに対して男の人は家を買うお金もないということです。

4.養老危機(老後問題)

未富先老(⇒先富起来—鄧小平)鄧小平が言った先富論を意識した役人の言葉。富む前に老いてしまうということ。

空巣老人…一人っ子が出て行って、取り残された貧しい老人。農村部に多い。

失独家庭…一人っ子を失つてしまい、次の子をもうけるには年老いてしまった家庭のこと。中国全土に1千万家庭あるといわれている。

5.社会問題

豆腐渣工程…手抜き工事のこと。

房奴…住宅ローンに追われている人のこと。

蝸居…日本でいうウサギ小屋。

走私…密輸のこと。

紅眼病…他人の生活を妬ましく思うこと。

残疾人…疾病や怪我など障害の残った人。8千万人いるといわれている。

白色汚染…捨てられたビニール・ポリ袋・発泡スチロールなど。

委員会報告

◆出席委員会

◎ゲスト

佐藤 聰氏(鶴岡市議会議員・鶴岡南RC)

◎メイクされた方

本間 厚・小林健郎・佐々木啓彦・菅原成規
塚原初男

スマイル

越智茂昭君 佐藤聰さんありがとうございました。又、先日は南クラブでお世話になりました。

加藤 亨君 先日、スピードを出しすぎました。事故をおこさなかったので良かったです。

阿部純次君 佐藤聰市議、中国の社会事情興味深く拝聴いたしました。スピーチありがとうございました。

藤川享胤君 ①海江田PGの御冥福をお祈り致します。
②佐藤さんのスピーチ聞けずにごめんなさい。